

スマートシティのセキュリティ・セーフティ分科会

分科会提案者：総務省、OGC、ラック

参加メンバー：省庁・自治体3団体、民間12団体、合計15団体

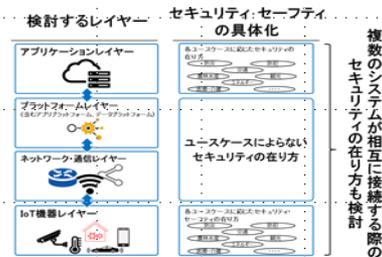
【メンバー】※敬称略

省庁：総務省 自治体：さいたま市、鎌倉市

民間他：OGC、ラック、日本PFI・PPP協会、GF技研、大村湾データコンソーシアム、凸版印刷、京セラ、東京海上日動、森ビル、TIS、日本電気、アイビーテクノス

分科会での活動概要

- ① 月次で分科会開催（令和2年1月より計9回）
- ② スマートシティを支えるインフラを対象にしたセキュリティ・セーフティの観点で必要となる機能について議論
- ③ スマートシティで満たすべきセキュリティ要件を整理した「チェックシート」作成に向けた対応方針について議論
- ④ 当分科会の今後の方向性について議論



②の検討のイメージ

分科会の活動成果

- スマートシティセキュリティを実現する上で必要となる機能に関する議論を踏まえ、当分科会ではスマートシティで満たすべきセキュリティ要件を整理した「チェックシート」を作成する方向性で合意
- 上記作業に向けた分科会メンバーの役割を整理

今後の課題・展望

- 「チェックシート」の内容に関する議論
- 上記議論を踏まえた「チェックシート」の策定
- 「チェックシート」の普及啓発、必要に応じて親会（官民連携プラットフォーム）と連携
- スマートシティのセキュリティに関するガイドライン検討への協力